

令和4年度「小・中学校ジョイントスクール推進事業」東中学校区実践計画書

事務局 八戸市立東中学校（教頭・鈴木 浩 司）

1 主題（7年次）

『児童・生徒の笑い声が響く学校・地域づくりをめざして』
～授業・行事におけるより良い人間関係づくりを通して～

2 主題設定の理由

今の児童・生徒たちが社会で活躍する頃には、生産年齢人口のさらなる減少、グローバル化の進展や技術革新等により、社会や職業のあり方そのものも大きく変化する可能性があると言われている。そうした近未来を切り開いていく力を育成するため、さまざまな提言や報告がなされている。

新しい時代に向けて学習指導要領の目玉となるのが「主体的・対話的で深い学び」である。この主体的・協働的な学びには、先生と生徒、生徒同士の良い人間関係が不可欠である。社会全体の人間関係の希薄化が問題となっているが、学校において、子どもたちをよく関わらせる機会を意図的に設けることで、社会を生き抜く力を身につけさせたい。

児童生徒にとって居場所や安心感がある授業や行事には、教える教師にも学習する子どもたちにも必ず「笑顔」がある。そして笑いがある学び舎は、生き生きと教育活動が行われている証であると考え。研究テーマの実現のため、特別支援教育の視点を大切にしながら授業づくりをベースに、小中学校の授業実践や行事のあり方を学び合いたい。

3 小・中ジョイントスクール推進事業を推進するための組織

<input type="checkbox"/> 会長	東中校長	<input type="checkbox"/> 研究推進委員会	各校 校長, 教頭, 教務主任,
<input type="checkbox"/> 副会長	町畑小校長 旭ヶ丘小校長		生徒指導主任(主事), 研修主任, 特別支援コーディネーター
<input type="checkbox"/> 顧問	東中PTA 会長 畑小PTA 会長 旭ヶ丘小PTA 会長	<input type="checkbox"/> 学習指導部	各校研修主任
<input type="checkbox"/> 事務局	東中教頭 町畑小教頭 旭ヶ丘小教頭	<input type="checkbox"/> 生活指導部	各校生徒指導主事
		<input type="checkbox"/> 行事連携部	各校教務主任
		<input type="checkbox"/> 特別支援部	各校特支コーディネーター等
		※各小・中学校の職員が各部に分かれ、活動をする。	

4 中学校区の重点指導項目

東 中学校区 重点指導項目

<ソーシャルスキルトレーニングを取り入れた授業づくり>

①あいさつする ②話を聞く ③意思表示をする ④ひとこと声がけをする ⑤友達同士で助け合うなどのソーシャルスキルに着目し、豊かな人間性・社会性を土台とした授業づくりしていくとともに校内授業研究の活性化を図り、

- ・相手を意識しながら、自分の思いや考えを話すことができる子ども
- ・相手の立場や気持ちを考えて話し合うことができる子ども
- ・相手の考えを聞き、自分の考えを高め、一般化することができる子どもの育成を目指す。